

企画展

— 稻荷台1号墳の須恵器と土師器 —

器ではかる

古墳の年代

測計度
科寸図

量調料
校程處



TK73

ON46

TK23

TK47

TK216

TK208

宇田型 鬼高式
和泉式



5世紀

草州型

471年
中葉

辛亥



讚

珍

推朝津間稚子宿禰



濟

興

武

獲加多支

齒大主



允恭

冊



雄略

令和8年

7月18日 土 ~ 9月23日 水・祝

I Museum Center
市原歴史博物館



稲荷台1号墳出土土器(国指定)

国重要文化財の指定が決まった王賜銘鉄剣。

銘文に記された「王」とは誰なのか。

そして、鉄剣を授けられた稲荷台1号墳の被葬者はどのような人物なのか。

考えるヒントは、発掘調査で出土した須恵器と土師器にあります。

今回の展示では、いちほら周辺で出土した古墳時代中期の須恵器と土師器を取り上げ、製作技法や形態の特徴と、それらの変遷について注目します。

稲荷台1号墳の築造年代は、どのようにして出土土器から推定できるのでしょうか。



稲荷台1号墳周溝内で検出された土師器高杯

展示構成

【1】土師器と須恵器の変遷

展示資料 釈迦山古墳 諏訪台SS105 台遺跡E地点 御林跡遺跡 加茂遺跡AB地点 鼻欠4号墳(袖ヶ浦市) など出土土器

【2】技法・変化と外来系土器

展示資料 南岩崎遺跡 原遺跡 五所四反田遺跡 戸張作遺跡(千葉市) など出土土器

【3】出土土器から見た稲荷台1号墳

展示資料 稲荷台1号墳出土土器

【4】王賜銘鉄剣の製作年代



台遺跡E地点100号竪穴

講座

【1】特別体験「須恵器風土器づくり体験」

日時: 7月20日(月・祝)

10:00~11:30、13:30~15:00

料金: 600円

※高校生以上は観覧券別途必要

※小学校3年生以下は保護者同伴



詳細・参加申込はこちら



【2】いちほら郷土学習講座 座学「器ではかる古墳の年代」

日時: 7月26日(日) 10:00~12:00

当日先着70名。9:30~受付開始

【3】博物館学芸員による展示解説会

日時: 期間中毎週日曜日 11:45~12:15



同上 復元された土器

観覧料

	一般	高校生
個人	300円	200円
団体(20名以上)	200円	100円

※中学生以下は無料。

※障がい者の方と介護者(同人数)は無料。

障がい者手帳などをご提示ください。

I Museum Center

市原歴史博物館

電話: 0436-41-9344

開館時間: 9時00分~17時00分(最終入場は16:30)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

アクセス

○バス JR内房線五井駅より



【平日】

五井駅東口3番バス乗り場より

「市原歴史博物館・中央武道館」行き乗車約20分

「市原歴史博物館」(終点)下車 徒歩2分

○バス 【土日祝日】

五井駅東口4番乗り場より「国分寺台」行き乗車約25分

「国分寺台」(終点)下車 徒歩20~25分

○バス JR内房線八幡宿駅より



【平日】

八幡宿駅西口1番バス乗り場より

「山倉こどもの国」行き乗車約15分

「山田橋東」下車 徒歩10分



〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地

www.imuseum.jp